

第5・6学年の特色

● 考え、判断しながら書くことで、
場面に応じた書写技能の「運用能力」を育むことができます。

考え、判断しながら書く

学習活動を提示するにあたり、単に書くというのではなく、適切な書き方を考えて書くということを重視しました。「考える→硬筆で書く→毛筆で書く→振り返る」という学習過程の中で、学びのポイントが確実に身につくよう、教材を構成しています。

① 漢字とひらがなの大きさ

● 二 全体を読みやすく書くよう

① 考えよう

次のアとイでは、どちらが読みやすいでしょう。

ア 明るく前向きな心

イ 明るく前向きな心

書いて確かめよう

漢字とひらがなの大きさに気をつけて、アの言葉を書いてみましょう。

②

③ 毛筆で確かめよう

④ 確かめよう

漢字とひらがなの大きさに気をつけて書きましたか。

多彩な書写場面

日常生活の中でのさまざまな書写場面を取り上げて教材化しました。それぞれの場面で、それまでに学んできた書写の技能を運用することを通して、「生きる力」としての書写能力を確かなものとしていきます。

下の例を参考に自分のノートを書き直そう

植物の発芽

1 発芽の条件

実験(1) 水が必要か調べる

- ① 水でしめらせただっしめんを入れたコップと、かわいたままのだっしめんを入れたコップを用意する。
- ② それぞれのコップにインゲンマメの種子をまき、発芽するか調べる。

実験(2) 空気が必要か調べる

- ① 水でしめらせただっしめんを入れた2つのコップを用意する。
- ② それぞれのコップにインゲンマメの種子をまく。
- ③ 1つはそのままにし、もう1つはさらに水を加えて種子を水の中にしずめ、発芽するか調べる。

実験(3) 温度との関係を調べる

- ① 水でしめらせただっしめんを入れた2つのコップを用意する。
- ② それぞれのコップにインゲンマメの種子をまく。
- ③ 1つはれいぞうこに入れ、もう1つには箱をかぶせ、発芽するか調べる。

12172
(条件)



知る

5

●学習を生かそう

漢字とひらがなの大きさに気をつけて書くこと

ア 次の文章を書きなさい。

夏休みが待ち遠しい。

イ 次の文章を書きなさい。

中庭のヒオトトフては、いろいろな生き物を観察できる。

24ページで習った漢字を思い出して書いてください。



12

11

●学習を生かそう

はがきに小筆であて名を書いてみましょう。

郵便はがき
3114230

水戸市大原町
三二七一六
海原武男様

富山市青田町二九
松木由加利

9892734

(武男 富山市)

目	区	府	九	五	一
番	町	県	十	六	二
地	村	郡	都	七	三
号	丁	市	道	八	四

字形にも気をつけてみましょう。

27

資料 書籍学習のついで

1 漢字の書き順を学ぶには、漢字の構成(部首)が大切です。漢字の構成(部首)がわかると、漢字の読みやすさや書きやすさがわかります。

2 漢字の書き順を学ぶには、漢字の構成(部首)が大切です。漢字の構成(部首)がわかると、漢字の読みやすさや書きやすさがわかります。

3 漢字の書き順を学ぶには、漢字の構成(部首)が大切です。漢字の構成(部首)がわかると、漢字の読みやすさや書きやすさがわかります。

4 漢字の書き順を学ぶには、漢字の構成(部首)が大切です。漢字の構成(部首)がわかると、漢字の読みやすさや書きやすさがわかります。

5 漢字の書き順を学ぶには、漢字の構成(部首)が大切です。漢字の構成(部首)がわかると、漢字の読みやすさや書きやすさがわかります。

6 漢字の書き順を学ぶには、漢字の構成(部首)が大切です。漢字の構成(部首)がわかると、漢字の読みやすさや書きやすさがわかります。

① 理解を深める資料

6年の巻末には「資料」を設定し、書写の技能を整理して示しました。学習の中で適宜参照することで、理解をより深めることができます。